

ほほえみと感動のある学校教育

経営

- 全教職員が協力して活力と規律ある開かれた学校経営をする**
- 全教職員を活かした機能的な運営組織を確立する。 □□
 - ◎ 学習指導要領を遵守し、学校や地域の特色等を生かした創意ある教育課程を編成・実施する。 □□
 - ◎ 児童生徒の命を守りきることを最優先に考え、一人一人の安全・安心の確保に努め、家庭や地域社会・関係諸機関との連携を図り、適切かつ確実な危機管理体制を確立する。 □□
 - 積極的な情報提供に努め、学校評価や児童生徒の実態等を学校経営や指導の改善に生かし、その状況を公表することにより、開かれた学校づくりを推進する。 □□

方針

- ◇ 一人一人に「生きる力」を育む指導をする
・確かな学力、豊かな心、健やかな体
- ◇ 学校の教育目標の具現に徹し、活力と規律ある開かれた学校経営をする

指導

個性を伸ばし、「生きる力」を育む指導をする

研修

- 確かな指導力を身に付けるため、自己の課題を明確にし主体的に研修を進める**
- 校内の主題研究や自己の課題を明確にし、組織的・継続的な研修を行う。 □□
 - ◎ 共感的な児童生徒理解に基づく指導を充実し、生徒指導の力を高める研修を行う。 □□
 - ◎ 特別な支援を必要とする児童生徒の教育的ニーズに応じた指導力を高め、支援体制を充実させるための研修を行う。 □□

「教科指導」「外国語指導」「生徒指導」「健康教育」「福祉教育」は本年度の重点領域 ◎印の力点は本年度の重点内容

教科指導 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、思考力・判断力・表現力及び自ら学ぶ意欲や態度を育てる

- 指導内容の系統や児童生徒の発達の段階を踏まえて学力・学習状況を把握し、指導内容の重点化を図ったうえで個の学習状況に応じたきめ細かな指導を充実する。 □□
- ◎ 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、思考力・判断力・表現力及び自ら学ぶ意欲や態度を育む課題解決型の学習指導を充実する。 □□
- ◎ 学び方を身に付け、学習内容の理解を深めることができるよう、学習習慣を確立するとともに、仲間とのかかわりの中で学び合う集団へと質を高める指導を充実する。 □□

道徳教育 自己を見つめる力と他を思いやる心を育てる

- 教育活動全体を通して道徳性が養われるよう、道徳の時間と他の教育活動との関連を明確にした指導計画の工夫改善を図る。 □□
- ◎ 道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳的実践力が育成されるよう、道徳の時間のねらいを明確にするとともに、「私たちの道徳」の活用方法や指導方法、指導過程を工夫し、道徳の時間を充実する。 □□
- 家庭や地域社会、小・中学校の連携を強化し、ボランティア活動、福祉活動等、地域ぐるみの活動を充実する。 □□

外国語活動 英語に慣れ親しむとともに、進んでコミュニケーションを楽しもうとする態度を育てる

- コミュニケーション能力の素地が養われるよう、町の年間指導計画をもとに授業の充実に努める。 □□
- ◎ 進んでコミュニケーションを楽しめるよう、担任主体の授業を積極的に実践する。 □□
- 小中の連携を図り、コミュニケーション能力を高める。 □□

総合的な学習の時間 探究的な学習を通して、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる

- 育てようとする資質や能力及び態度、各教科等との関連を一層明確にし、課題意識が連続発展するよう全体計画及び指導計画を工夫改善する。 □□
- 体験活動と言語活動を意図的に設定し、探究活動を充実する。 □□
- ◎ 一人一人の学習状況や成果を把握し、指導・援助を充実する。 □□

特別活動 所属感を高め、よりよい生活や望ましい人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる

- 児童生徒の実態や発達段階を考慮し、自主的、実践的な活動を促すよう指導計画を工夫改善する。 □□
- 自己の活動や生き方を振り返り新たな目標や課題がもてるよう、一人一人のよさや可能性を多面的、継続的に評価する。 □□
- ◎ 学級の諸問題を解決する活動を通して、よりよい生活や望ましい人間関係が築けるよう学級経営を充実する。 □□

生徒指導 共感的な理解に徹し、望ましい人間関係を築く力と自己指導能力を育てる

- 自己を見つめ、自主的に判断し、自らの行動に責任をもつ態度や自己を生かす能力を育てる。 □□
- ◎ 仲間と共に活動する喜びや自己存在感を味わい、望ましい人間関係を築くことができるよう、児童生徒のかかわりあいを大切にした学級経営や授業を全校体制の指導により充実する。 □□
- ◎ 全教育活動を通して、一人一人が自他の生命を尊重し、倫理観や規範意識が体得できるよう指導を徹底する。 □□

- ◎ 信頼と愛情に基づいた共感的な理解に徹し、わずかな変化を見逃さないように、教育相談の日常化に努める。 □□
- ◎ 不登校や問題行動（いじめ、暴力行為、薬物乱用、携帯電話のメールやインターネットによる性非行、誹謗中傷や違法行為等）については、全教職員が危機意識をもち、組織的に対応し、早期発見・早期対応はもとより未然防止に重点的に取り組む。 □□
- 児童生徒の健全な育成や児童虐待防止を図るために、学校・家庭・地域社会が一体となって取り組むとともに、幼・保・小・中学校間や高等学校及び関係諸機関との情報共有と行動連携を強化する。 □□

進路指導 自己の生き方を考え、主体的に進路を選択できる能力や態度を育てる

- キャリア教育の推進を図るよう全体計画、題材系統図を工夫改善する。 □□
- 望ましい勤労観・職業観が育つよう、学級活動や総合的な学習の時間等との関連を図った体験活動等を意図的・計画的に位置付けるとともに、事前や事後の指導を充実する。 □□
- ◎ 一人一人が自己の能力・適性や多様な可能性を理解し、将来の夢や希望の実現に向けて自分のよさを生かし主体的に進路選択ができるよう指導・援助する。 □□

健康教育 運動に親しみ、進んで健康で安全な生活を営む態度を育てる

- ◎ 食生活等の生活習慣や心身の健康状態、体力・運動能力、安全に対する意識・行動を的確に把握し、指導内容の明確化・重点化を図る。 □□
- 健康で安全に生き抜く力が育つよう、個に応じた指導を充実する。 □□
- ◎ 学校と家庭、地域社会が連携した組織体としての総合的な力を発揮して、児童生徒の健康・安全を守りきるために、健康被害や事件事故及び自然災害等による被害の未然防止に万全を期す。 □□

特別支援教育 一人一人の教育的ニーズに応じ、自立し社会参加するための基盤となる力を育てる

- 一人一人の教育的ニーズを正しく理解し、特別支援教育コーディネーターを中心に外部機関と連携して全教職員が組織的に指導する。 □□
- ◎ 保護者や関係機関との連携のもと、「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」を作成・活用し、一貫した支援を行う中で、一人一人が能力や特性を発揮し主体的に活動できるよう、指導内容や指導方法・評価を工夫改善する。 □□
- ねらいを明確にした交流及び共同学習を計画的・継続的に実施し、相互理解を深めるとともに、社会性や豊かな人間性を育むことができるよう指導する。 □□

人権教育 身近な人権問題に対する正しい認識と理解を深め、人間尊重の態度を育てる

- 全教育活動を通して「認識力」「自己啓発力」「行動力」を培うよう努める。 □□
- ◎ 児童生徒一人一人の個性が尊重され、仲良く助け合い、励まし合える好ましい人間関係を醸成する。 □□
- 家庭や地域社会等と連携し、人間尊重の精神の啓発を図る。 □□

福祉教育 思いやりと連帯の心を育てる

- ◎ 思いやりの心が育つよう活動のねらいや価値を明確にしたボランティア活動・福祉活動を充実する。 □□
- 家庭、地域社会及び関係諸機関と連携し、地域に根付いたボランティア活動・福祉活動を充実する。 □□